

令和7年度地域部活動推進事業に係る実証事業報告会及び研修会

学校部活動の地域展開がもたらす新たな価値

文教大学人間科学部教授

日本財団ボランティアセンター参与

二宮 雅也

自己紹介

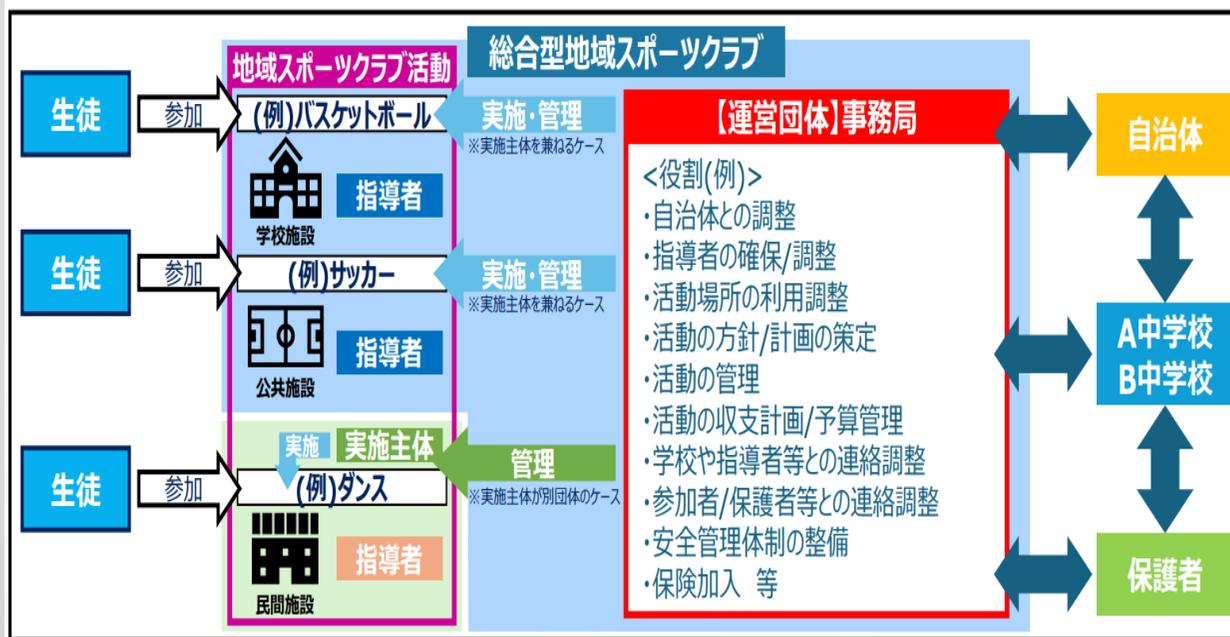
- 氏名 二宮雅也（にのみやまさや）
- 専門 スポーツ社会学
- 役職 日本財団ボランティアセンター参与
日本スポーツ協会地域スポーツクラブ育成専門委員会委員
日本スポーツ協会地域スポーツ推進中央協議会座長
独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興助成
（toto）審査委員会委員
埼玉県地域スポーツクラブ活動体制整備事業コーディネーター



総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 ～部活動の地域展開タイプ～

部活動の地域展開において、地域スポーツクラブ活動の運営団体を担う資質を持った登録クラブを認証し、子どもたちの地域スポーツ環境の整備を促進する認証タイプです。

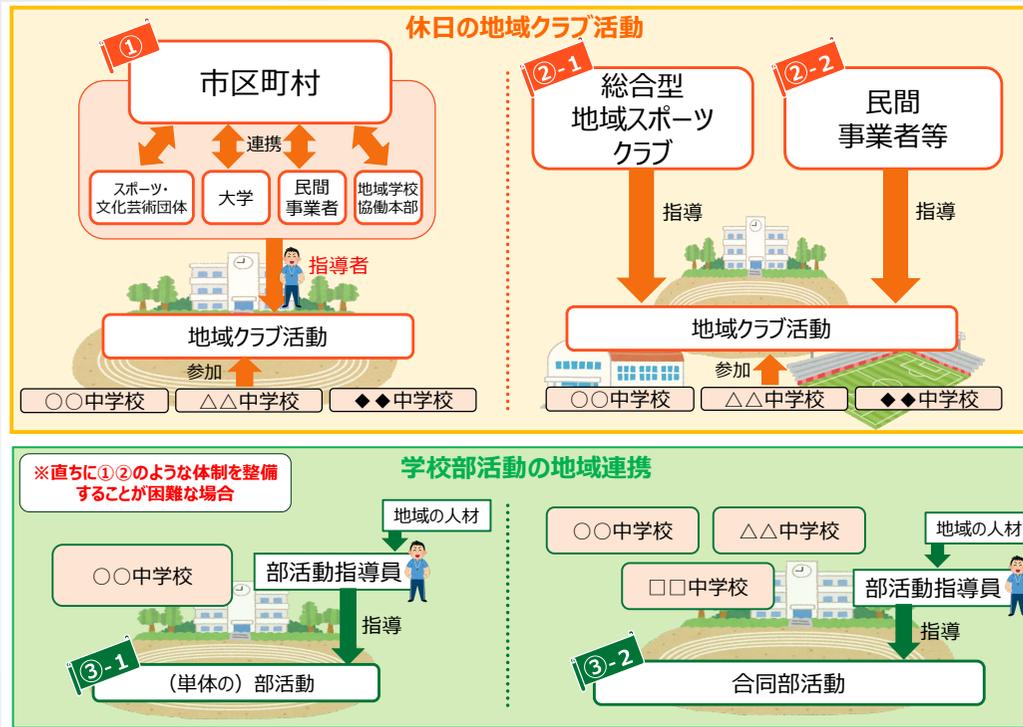
◆総合型地域スポーツクラブが運営団体を担う場合の体制イメージ図 (地域の実状に応じて体制が異なる場合があります)



今年度認証されたクラブ

No	クラブ名
1	NPO法人かわまたスポーツクラブ
2	特定非営利活動法人クラブ・ドラゴンズ
3	特定非営利活動法人白岡Sport-Verein
4	NPO法人希楽々
5	一般社団法人可児UNICスポーツクラブ
6	一般社団法人Escorde野田スポーツクラブ
7	一般社団法人リトルバイン総合型地域スポーツクラブ
8	一般社団法人くまがしクラブ
9	NPO法人ふみの里スポーツクラブ
10	特定非営利活動法人総合型SC長与スポーツクラブ

部活動地域展開のイメージ



文部科学省HP「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」より

市町で統一した形で行うのか、中学校ごとに移行（連携）するのか、各部活の種目ごとに移行（連携）するのか？

国は令和13年度（2031年）までに、休日における原則休日の部活動の地域展開実現を目指す

現存しない新たな種目、文化活動の創出は？

地域クラブ活動の新たな価値

生徒の新たなスポーツ・文化芸術活動の場として創設される地域クラブ活動においては、これまで学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。

＜国が示す新たな価値の例＞

- 生徒のニーズに応じた多種多様な体験
(マルチスポーツ、スポーツと文化芸術の融合等を含む)
- 生徒の個性・得意分野等の尊重
- 学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出
- 地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流
- 学校段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）等

- 生徒のニーズに応じるだけでなく、ニーズを創出することが肝要（大人の仕事）
- 障害の有無・技能差への柔軟な対応（インクルーシブスポーツ、eスポーツ、ゆるスポーツ）
- ボランティアをはじめとして、地域を支える活動への継続的参加（祭り、イベント、伝統芸能・・・）
- 引退のない継続的な活動（準指導者としての構えを形成）

運営団体、実施主体の選出にはこうした「新たな価値」に対する認識を共有できるかが重要

地域クラブ活動の未来

- 子どもたちがスポーツや文化芸術活動に触れる機会を公的に保障してきた部活動は、日本が蓄積した極めて重要な機能である。（先生方に感謝！！）
- そうした良さを活かしながら、これからの社会でも持続可能性の高い改革が必要である。（例：先生をはじめ一部の人を犠牲にしない）
- 生徒の考えを生かした改革を！
（例：地域で他校の生徒と一緒に活動したいといったニーズ）
- 学校教育から地域づくりへの転換（予算措置、地域資源も含めて）
（クラブがあってよかった、人生が楽しい、自分の居場所がある）